※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０１２

令和８年度　公民科

教科	公民科	科目	倫理	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	倫理（数研出版）						
副教材等	倫理整理ノート（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界のさまざまな思想（考え方）に対して、常に「どのような意味なのか」を確かめること。
・多くの思想について学びながら、自分自身の生き方とのつながりや相互的な影響を考える。
・授業プリントおよび授業ノートを用いて授業をおこなう。必要に応じて、視聴覚教材を用いる。
・レポート課題や小テストなど積極的に実施するので、自宅学習も含め計画的に取り組むこと。
・ペアワークやグループワークを行うので、積極的な発言や友達との協力を意識すること。

2　学習の到達目標

・知識及び技能…幅広い知識を通して、現代のさまざまな課題をとらえ、より深く筋道を立てて考えるための手がかりとなる理論について理解するとともに、多くの資料から、人間としての生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
・思考力、判断力、表現力等…自立した人間として他者と共によりよく生きる自分自身の生き方についてより深く考える力や、現代のさまざまな課題を解決するために倫理に関する理論などを活用して、論理的に考えを深め、説明したり対話したりする力を養う。
・学びに向かう力、人間性等…人間としての生き方に関わることがらや課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自分を形成しようとしたりする態度を養うとともに、いろいろな角度からの考察やより深い考えを通して育てられる、現代社会に生きる人間としての生き方についての自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	幅広い知識を通して、現代のさまざまな課題をとらえ、より深く筋道を立てて考えるための手がかりとなる理論について理解するとともに、多くの資料から、人間としての生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けている。	自立した人間として他者と共によりよく生きる自分自身の生き方についてより深く考える力や、現代のさまざまな課題を解決するために倫理に関する理論などを活用して、論理的に考えを深め、説明したり対話したりしている。	人間としての生き方に関わることがらや課題について学習上の課題を意欲的に追究しようとしたり、他者と共によりよく生きる自分の形成に向けて、いろいろな角度で考察しようとしたりしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知（ａ）	思（ｂ）	主（ｃ）
１学期	人間の心と自己形成	＊青年期の課題と自己形成 ・人間とは何か ・さまざまな人間の心のあり方 ・自立して生きる主体の形成	ａ：人間の特質とは何かを理解している。 ｂ：自分の生きている青年期はどのような位置にあり、どのような発達課題があるのかを考えている。 ｃ：様々な人間の心のあり方について、科学的に探究した各種の実験や観察、調査に基づく統計的な分析の結果を読み取ったり、対話や作文などを通して学習を深めたりしている。	定期考査　小テスト	定期考査　小テスト　グループワーク　レポート	ノート提出　授業態度・発言　振り返りシート
	人間の存在や価値と宗教	＊ギリシアの思想 ・哲学の形成 ・哲学の確立 ・ギリシア思想の展開	ａ：古代ギリシアに見られる先哲の基本的な考え方が、理性的な人間観に支えられていることを理解している。 ｂ：「ソクラテスのことば」から、「よく生きることこそ大切である」という彼の信念を読み取っている。 ｃ：ソクラテスの言行やプラトン、アリストレスの思想、ヘレニズムの思想から、人生への問いや人間の存在や価値について、自己の課題と結び付けて思索している。			

※令和４年度以降入学生用

		＊ユダヤ教とキリスト教 ・ユダヤ教の世界 ・イエス ・キリスト教の発展	a：イエスの思想をユダヤ教と対比させて、神の愛・律法の内面化という視点を中心に理解している。 b：原罪や恩寵の思想に見られるキリスト教の人間観について、自己の課題と重ね合わせて思索している。 c：イエスの言行やパウロ、古代中世のキリスト教の思想から、人間をどのように捉え、どのように生きることを指し示しているかについて、多様な倫理に関する諸概念を踏まえながら自己の課題と結び付けて思索している。			
２学期		＊イスラーム ・イスラーム	a：イスラームはどのようにして誕生したか、ムハンマドの教えにはどのような特徴があるのか、ユダヤ教やキリスト教とはどのように関係するかを理解している。 b：『クルアーン』について、日常の生活で行うことまで規定していることを読み取れている。 c：メッカの方向を調べるなどして、イスラームの基本的教義（六信・五行）を実感している。	定期考査　小テスト	定期考査　小テスト レポート	ノート提出　授業態度・発言 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		＊仏教 ・インドの思想文化 ・仏教の誕生と展開	ａ：インドの人々は、どのような死生観をもっているかを理解している。 ｂ：日本になじみの深い宗教である仏教の教えを知り、仏教思想の現代的な意義はどこにあるのかを考察している。 ｃ：仏教が人間をどのように捉えているか、どのように生きることを目指しているかについて、多様な倫理に関する諸概念を踏まえながら、自己の課題と重ね合わせて思索している。			
	国際社会に生きる日本人としての自覚	＊日本固有の思想 ・日本の風土と伝統	ａ：古来の日本人の心情と考え方は、日本の風土で生活する中で育まれたことを理解している。 ｂ：日本人の意識や心情の底流となっている物事の捉え方、望ましい対人関係を考察している。 ｃ：古来の日本人の心情と考え方をもとに、国際社会に生きる日本人としての人間観、自然観、宗教観などの特質について、主体的に考えている。			
		＊外来思想の受容 ・日本仏教の展開 ・伝統思想の成熟 ・日本儒学の展開	ａ：日本の思想や文化に大きな影響を与えている仏教や儒教が日本にどのように伝えられ、どのように変容していったのか、その大きな流れを理解している。 ｂ：日本人の価値意識と儒教との関連について理解し、正の部分、負の部分をともに検討する。 ｃ：外来思想の受容をもとに、国際社会に生きる日本人としての人間観、自然観、宗教観などの特質について、主体的に考えている。			

※令和４年度以降入学生用

３学期	自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理	＊生命の問題と倫理課題 ・生殖医療と遺伝子操作 ・脳死臓器移植と再生医療 ・自己決定の尊重と末期医療	b：生命科学や医療技術の発達を踏まえ、生命の誕生、老いや病、生と死の問題などを通して、生きることの意義を思索している。 b：探究した結果を、「自分の考えをまとめる」「問題点を話し合う」などの方法で適切に表現している。 c：生命をめぐって問題となっている事例を収集し、主体的に解決しようとしている。	定期考査　小テスト	定期考査　小テスト　グループワーク　レポート	ノート提出　授業態度・発言　振り返りシート
		＊地球環境の問題と倫理的課題 ・地球環境問題 ・生物多様性と自然環境 ・予防原則と世代間倫理	b：人間の生命は自然の生態系の中で植物や他の動物との相互依存関係において維持されており、共存関係が大切であることについて思索している。 b：探究した結果を、「自分の考えをまとめる」「問題点を話し合う」などの方法で適切に表現している。 c：地球環境をめぐって問題となっている事例を収集し、主体的に解決しようとしている。			
	社会と文化にかかわる諸課題と倫理	＊文化と宗教の影響と倫理的課題 ・文化や宗教の理解と現代世界 ・異文化理解と多文化共生	b：異なる文化や宗教をもつ人々を理解し、共生に向けて思索している。 b：探究した結果を、「自分の考えをまとめる」「問題点を話し合う」などの方法で適切に表現している。 c：文化や宗教をめぐって問題となっている事例を収集し、主体的に解決しようとしている。			

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度